

研修名 (12 フォント)	令和 5 年度再就職支援セミナー 基礎コース				
領域	ナースセンター事業委員会	会場	看護研修センター中研修室	受講料	1550 円
対象	参加者 10 名 (当日欠席 1 名)				
日時	令和 5 年 10 月 3 日 (火) 9 : 30 ~ 12 : 00				
ねらい (目標)	<p>目的 : 看護の動向を知り基礎看護技術を習得することで、就業への不安が軽減でき就業意欲の向上につながる</p> <p>目標 : ①最新の看護の動向について理解できる ②急変時の対応と手技について理解できる</p>				
講師	<p>1. 看護の動向 新潟県看護協会 ナースセンター 課長 高橋恒子</p> <p>2. 急変時の対応 新潟白根総合病院 救急看護認定看護師 志田朝幸</p>				
内容・方法	<p>1. オリエンテーション 2. 看護の動向 3. 急変時の対応 講義・演習</p> <p>4. まとめ</p>				
結果・評価 (受講者の意見 感想含む)	<p>アンケート結果 (別紙) を評価方法として、目標の理解度を評価基準とした。目標①②とも、分かりやすかったかの設問に対し「とてもそう思う」「そう思う」が 100%であったことから、目標は達成できた。</p> <p>また、研修受講により、「再就職への意欲が高まった 3 人」「知識や技術を学び自信がついた 5 人」「再就職への選択肢が広がった 3 人」であり、ポジティブな変化につながる研修となり目的は達成された。</p> <p>看護の動向では、「就職に対して前向きになれた」「ライセンス保持者として 2040 年に向けて考えたい」などの感想が多く、興味をもって聞いている様子が伺えた。</p> <p>急変対応の研修は、講義と実技による最新の知識を習得する機会となり「分かりやすかった」「楽しく学ぶことができた」「自信につながった」等の意見が多く聞かれた。医療現場だけではなく、日常生活の中でも急変の場面に遭遇する機会はあるため、参加者からの質問も多く、興味を持って楽しそうに参加している様子が伺えた。</p>				
企画の評価	<p>目標の理解度がまあまあ理解できたを含め 100%であり、セミナー内容は妥当であった。看護技術体験への要望は高く、最新知識が紹介できる企画を継続していく必要がある。</p>				
課題	<p>準備した AED2 台が機器トラブルで使用できなかったため事前の確認が必要。情報交換会を行う予定であったが、場の設定を含め時間不足となってしまった。参加者同士の交流も再就職への後押しとなるため、全体的な時間配分について検討が必要である。</p>				
担当者	ナースセンター事業委員会				